関シティバス（定時定路線）　アンケート調査・乗降調査

＜調査概要＞

調査目的：関シティバスのうち、買い物循環線，わかくさ・小金田線，わかくさ・千疋線の利用者数、利用ODを把握する。
また、同路線の利用者の利用目的・利用頻度等を把握する。

調査方法：対象路線に調査員が同乗し、乗降バス停や利用者属性をチェックする。
カウント調査と同時に、ビンゴカード形式のアンケートを配布し、降車時に回収する。

対象路線：買い物循環線，わかくさ・小金田線，わかくさ・千疋線

調査日　：11月25日（火），11月30日（日）

利用者数・アンケート回答数：

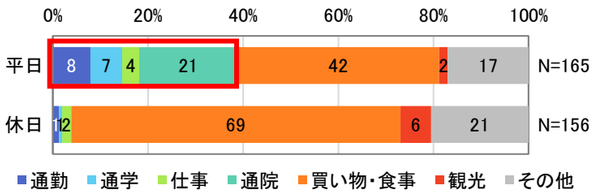
	平日	休日	計
買い物循環線	185	204	389
わかくさ･小金田線	42	39	81
わかくさ･千疋線	28	20	48
	255	263	518

調査結果まとめ

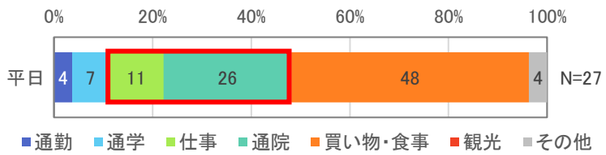
利用目的

・全体では、平日・休日ともに買い物・食事での利用が最も多いが、平日は買い物・食事以外にも通院や通勤・通学など幅広く利用されている。
・わかくさ・小金田線では、買い物循環線やわかくさ・千疋線と比べて、仕事や通院を目的とした利用の割合が高い。

全体

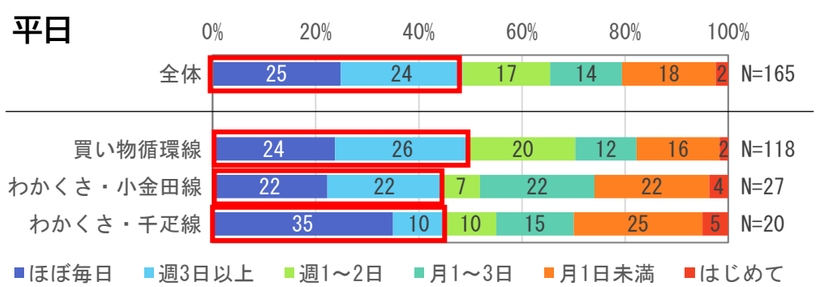


わかくさ･小金田線



利用頻度

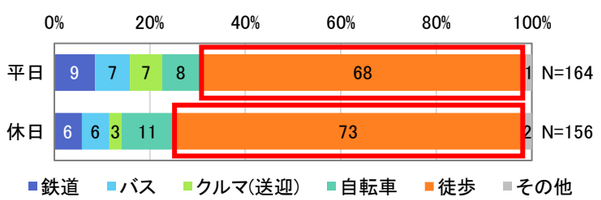
・平日の全体では、週3日以上の高頻度で利用している割合が49%となっている。
・平日を路線別にみると、買い物循環線で週3日以上利用する人は50%、わかくさ・小金田線は44%、わかくさ・千疋線は45%となっており、3路線ともに高頻度利用者が半数近くを占めている。



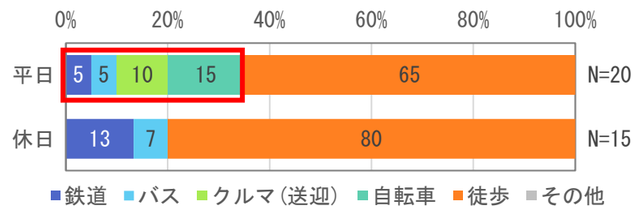
バスに乗る前の交通手段

・全体では、平日・休日ともに徒歩での移動が最も多く、70%前後となっている。
・わかくさ・千疋線では、休日は徒歩が80%を占めるのに対し、平日では65%となっており、平日と休日でバス停までのアクセス手段に違いがみられる。

全体



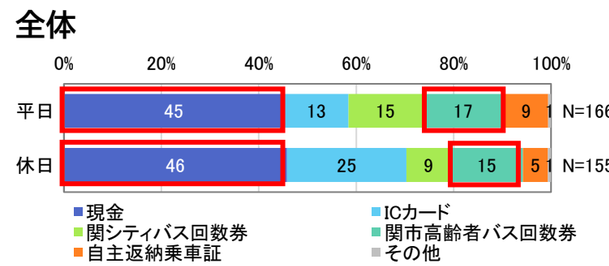
わかくさ･千疋線



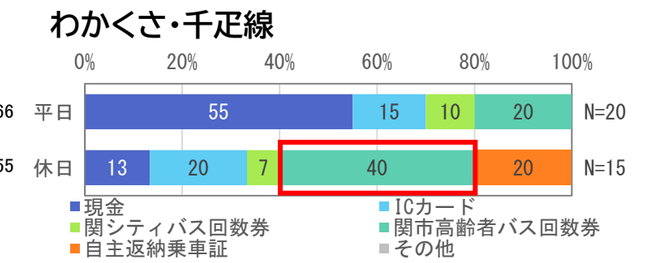
運賃の支払い方法

・全体では、平日・休日ともに現金払いが最も多い。
・令和7年10月に開始した「関市高齢者バス回数券」は、平日・休日ともに一定数の利用がある。
・わかくさ・千疋線の平日では、現金が55%と最も多いが、休日は関市高齢者バス回数券が最も多く、40%となっている。

全体



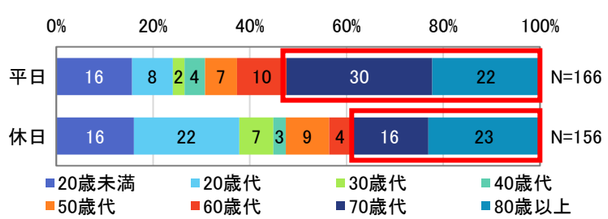
わかくさ･千疋線



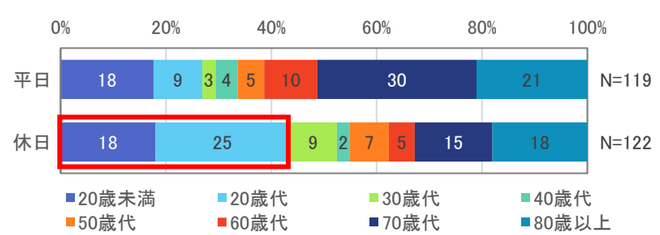
年齢

・全体の平日は、70歳代以上が52%となっているが、休日は39%となっており、平日に高齢者の利用が多い傾向にある。
・買い物循環線の休日では、20歳代以下は43%となっており、休日における若年層の移動手段のひとつとして利用されていると考えられる。

全体



買い物循環線

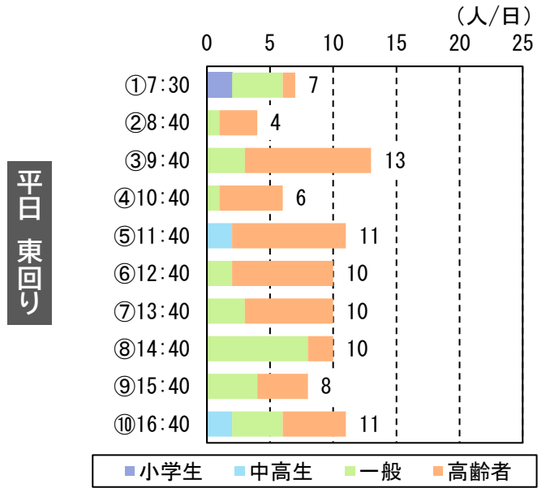


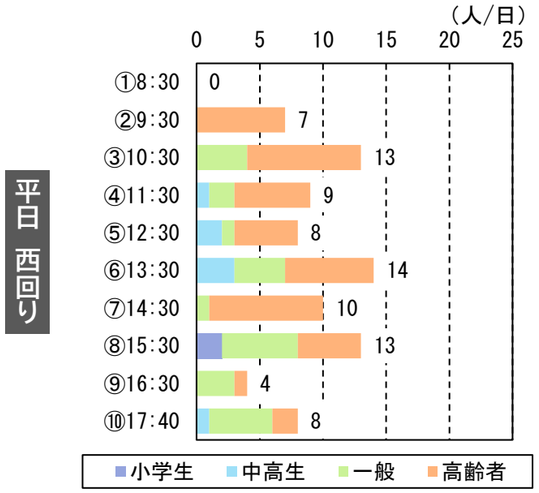
調査結果

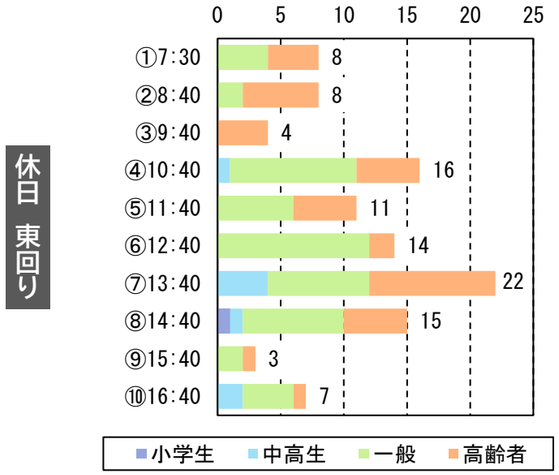
買い物循環線

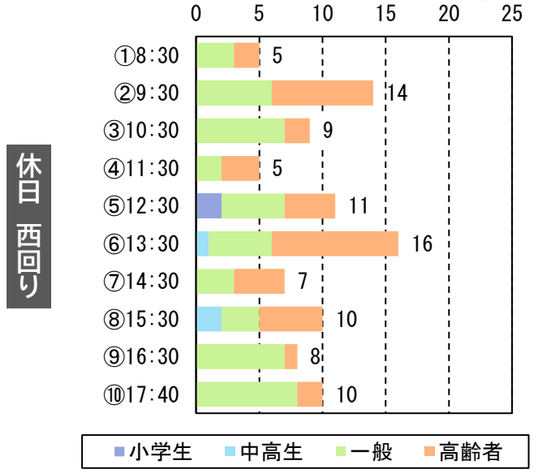
便別属性別利用者数

・平日は高齢者の利用が目立つが、休日は高齢者に加え一般の利用があることによって、平日より休日の利用者数の方が多くなっている。





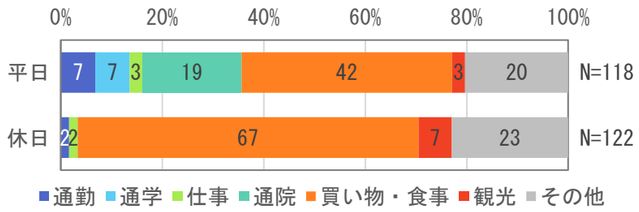




データ：関シティバス　乗降調査

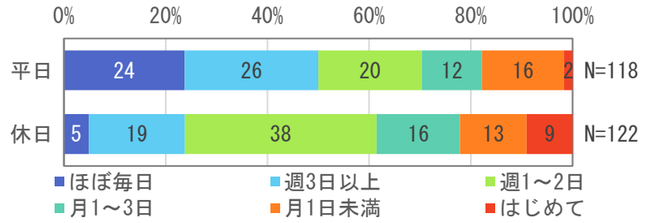
利用目的

・平日は買い物・食事を目的とした利用が中心であり、休日は買い物・食事目的の利用が特に多い。



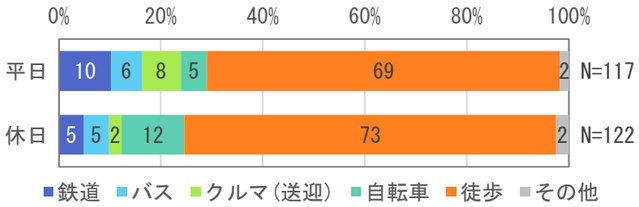
利用頻度

・平日は高い頻度で利用している人が多く、休日は週に数回程度の利用が中心となっている。



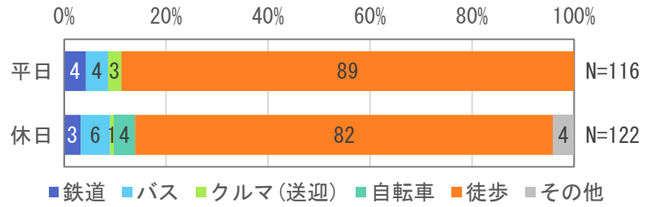
バスに乗る前の交通手段

・平日、休日ともに、徒歩の割合が最も高い。



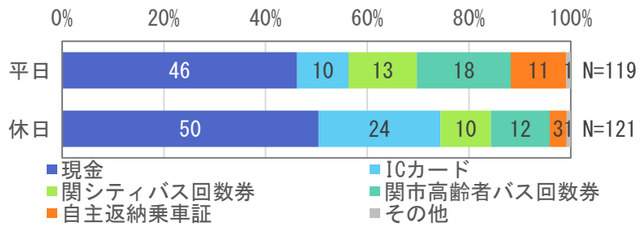
バスから降りた後の交通手段

・平日、休日ともに、徒歩の割合が最も高い。
・バスに乗る前よりも、徒歩の割合が高い。



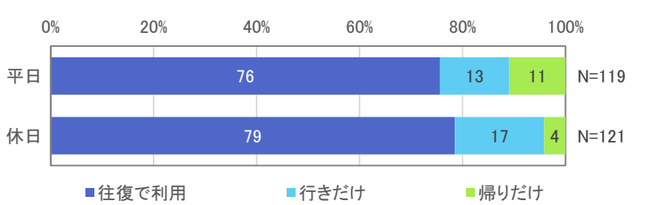
運賃の支払い方法

・平日・休日ともに現金払いが最も多いが、休日は、現金に次いでICカードの利用が多い。



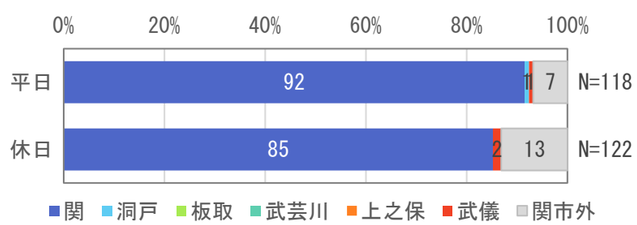
往復利用の有無

・平日、休日ともに、往復での利用の割合が最も高い。



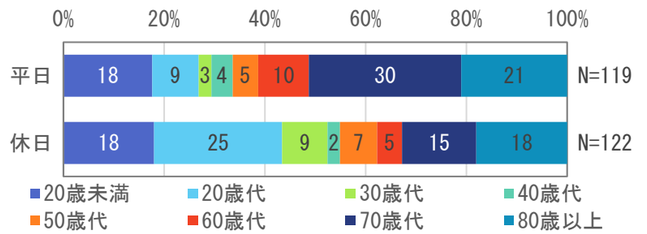
居住地

・平日、休日ともに、関地域の割合が最も高い。



年齢

・平日は、70歳代以上の高齢者の割合が高いが、休日は、20歳代以下の利用が多い。

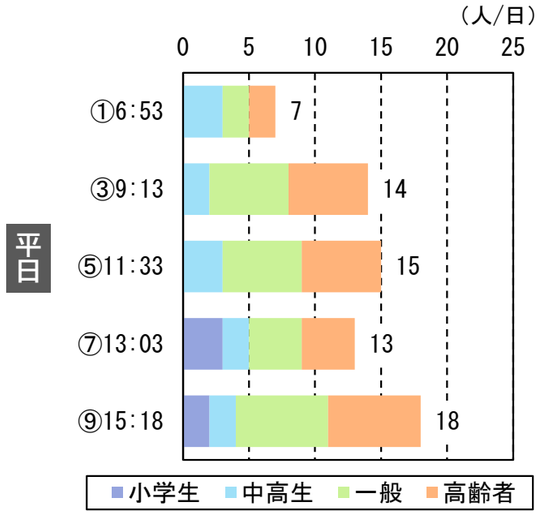


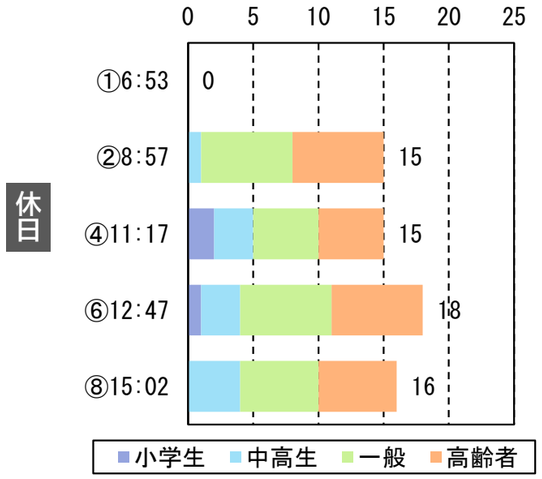
データ：関シティバス　アンケート調査

わかくさ･小金田線

便別属性別利用者数

・平日、休日ともに、一般と高齢者の利用が多い。
・平日、休日ともに、午前中の便より午後の便の方が利用が多い傾向にある。

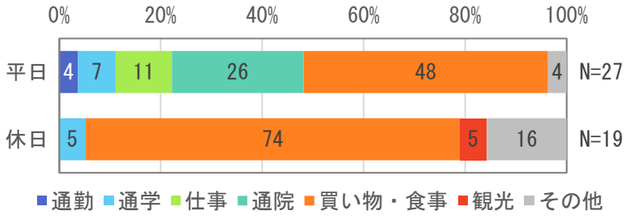




データ:関シティバス　乗降調査

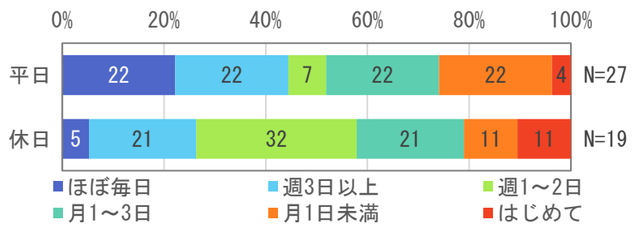
利用目的

・平日は買い物・食事を目的とした利用が中心であり、休日は買い物・食事目的の利用が特に多い。



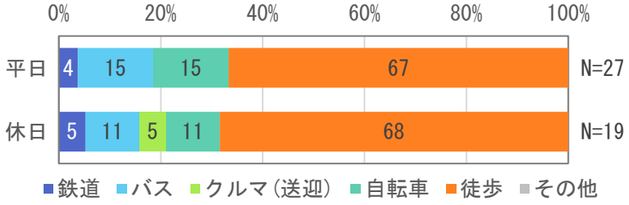
利用頻度

・平日は高い頻度で利用している人が多く、休日は週に数回程度の利用が中心となっている。



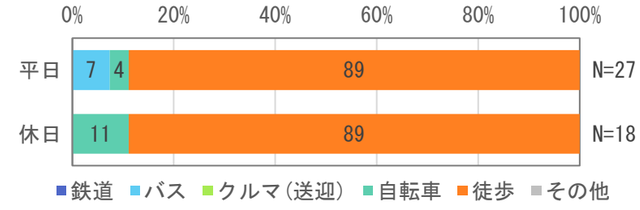
バスに乗る前の交通手段

・平日、休日ともに、徒歩の割合が最も高い。



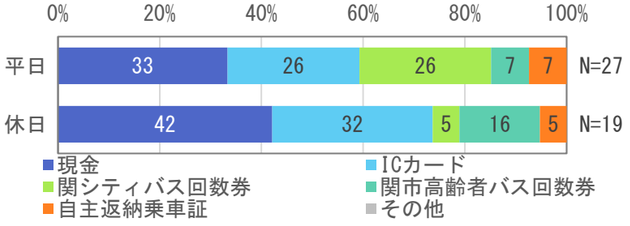
バスから降りた後の交通手段

・平日、休日ともに、徒歩の割合が最も高い。
・バスに乗る前よりも、徒歩の割合が高い。



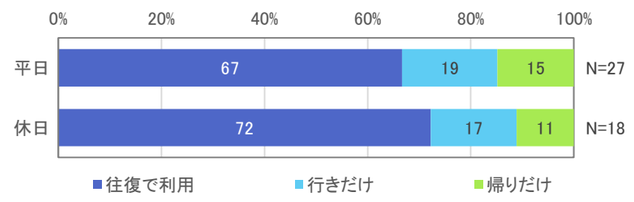
運賃の支払い方法

・平日は現金、ICカード、関シティバス回数券を利用する人が多い。
・休日では、現金、ICカードに次いで関市高齢者回数券利用者の利用が多い。



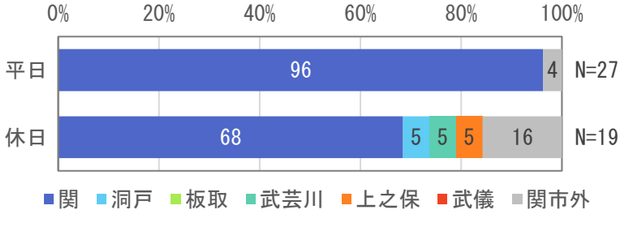
往復利用の有無

・平日、休日ともに、往復での利用の割合が最も高い。



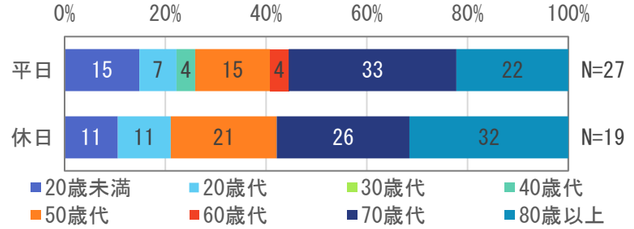
居住地

・平日は、ほどんどが関地域の方の利用だが、休日は関地域以外の方の利用もある。



年齢

・平日、休日ともに、70歳代以上の利用が過半数を占める。

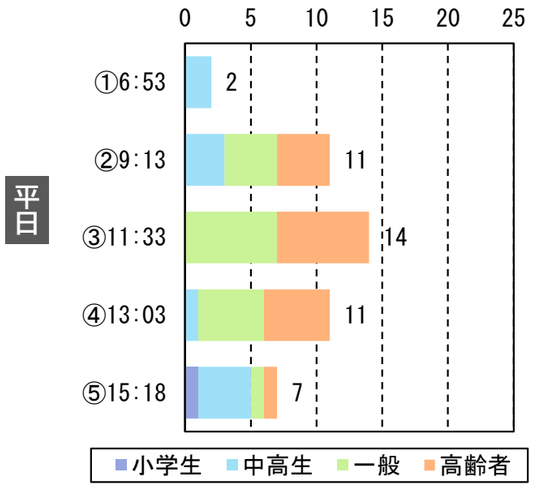


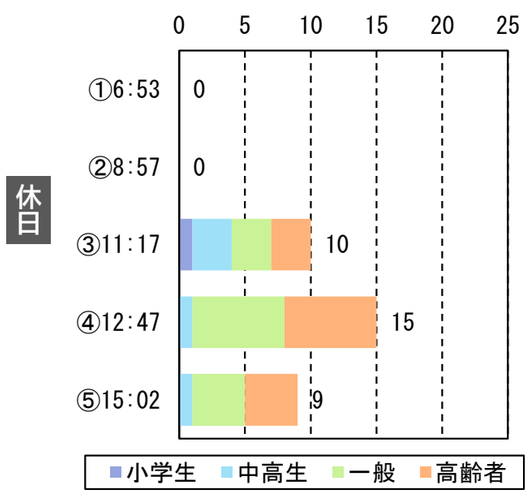
データ:関シティバス　アンケート調査

わかくさ・千疋線

便別属性別利用者数

・休日では、利用者数が０人の便がある。
・平日、休日ともに、正午前後の利用が多い。

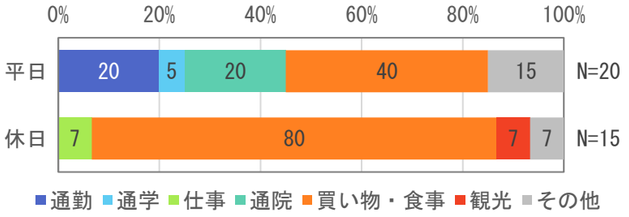




データ:関シティバス　乗降調査

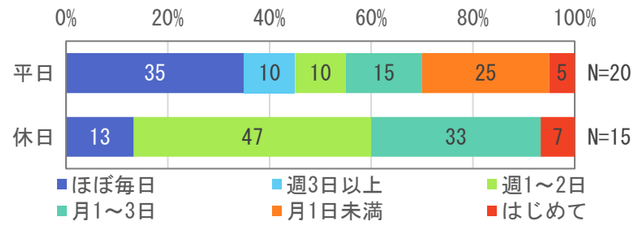
利用目的

・平日は買い物・食事を目的とした利用が中心であり、休日は買い物・食事目的の利用が特に多い。



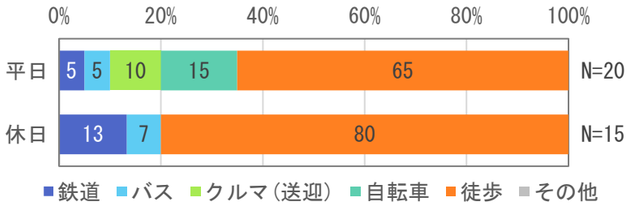
利用頻度

・平日は、ほぼ毎日利用している割合が高い。
・休日は、週に数回程度の利用が中心となっている。



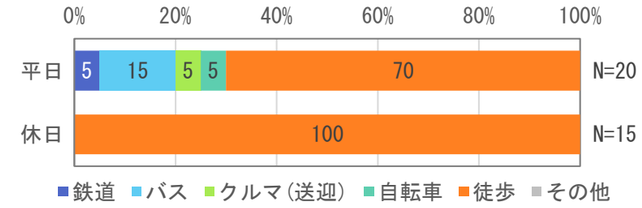
バスに乗る前の交通手段

・平日、休日ともに、徒歩の割合が最も高い。



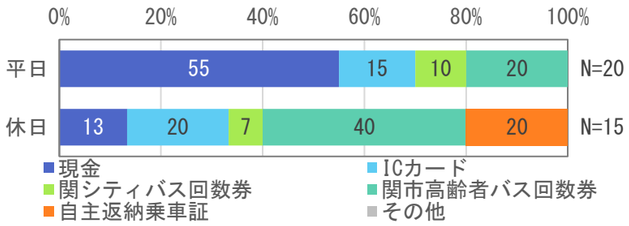
バスから降りた後の交通手段

・平日は徒歩以外の交通手段を利用する人もいるが、休日は徒歩に限られている。



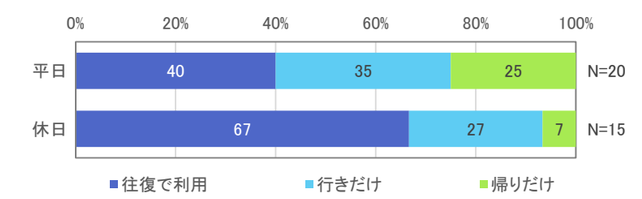
運賃の支払い方法

・平日は、現金払いが最も多い。
・休日は、関市高齢者バス回数券払いが最も多い。



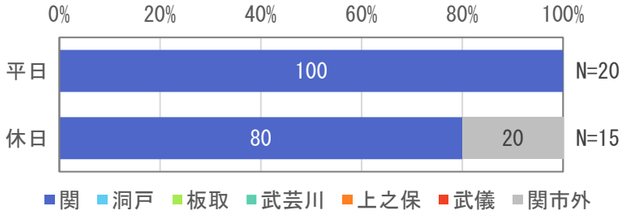
往復利用の有無

・休日は往復利用が多いのに対し、平日は片道利用が多くなっている。



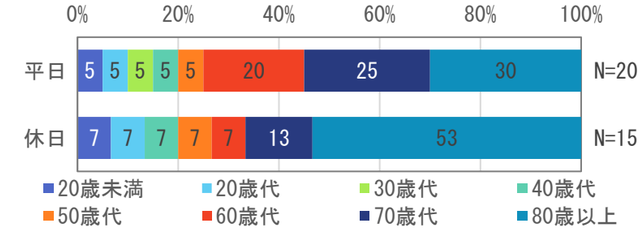
居住地

・平日、休日ともに、関地域の方の利用がほとんどを占める。



年齢

・平日、休日ともに、60歳代以上の利用がほとんどを占める。



データ:関シティバス　アンケート調査